令和4年6月15日（水曜日）

美里町議会全員協議会会議録

美里町議会全員協議会

令和4年6月15日（水曜日）

出席議員（13名）

1番	赤坂芳則君	2番	平吹俊雄君
3番	吉田二郎君	4番	山岸三男君
5番	柳田政喜君	6番	伊藤牧世君
7番	藤田洋一君	8番	櫻井功紀君
9番	鈴木惠悦君	10番	前原吉宏君
11番	佐野善弘君	12番	村松秀雄君
13番	鈴木宏通君		

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町長部局

町長	相澤清一君
副町長	須田政好君
総務課長	佐藤俊幸君
まちづくり推進課長	齋藤寿君
町民生活課長	阿部伸二君
町民生活課課長補佐	佐々木康君

議会事務局職員出席者

事務局長	今野正祐君
事務局次長兼議事調査係長	齊藤美穂君

議事日程

令和4年6月24日（水曜日） 午後2時59分 開会

第1 開 会

第2 議長挨拶

第3 説明及び意見を求める事項

1) 指定管理業務に関する不適正事務について

2) 農林業系汚染廃棄物の焼却処理について

第4 そ の 他

第5 閉 会

午後2時59分 開会

○議長（鈴木宏通君） 全員出席です。

ただいまから会議を始めます。

まず初めに、町長から御挨拶をいただきます。お願いいたします。

○町長（相澤清一君） 6月会議、大変御苦労さまでございました。今日は歓送迎会もあるということで、スムーズに進めていただければありがたいと思っております。

本日は、議長のお取り計らいにより、議会全員協議会を開催していただき、厚く御礼申し上げます。本日全員協議会で御説明申し上げますのは、1点目は指定管理業務に関する不適正事務について、2点目は農林業系汚染廃棄物の焼却処理についてであります。

初めに、1点目の指定管理業務に関する不適正事務について御説明申し上げます。

令和2年度、指定管理に係る令和3年度中の業務において、不適正な事務が確認されたことから、町では、本日、当該職員に対し、懲戒処分を行いました。処分内容につきましては、本人を戒告としたところでございます。

詳細につきましては、後ほどまちづくり推進課長から御説明申し上げます。

次に、2点目の農林業系汚染廃棄物の焼却処理について。

令和4年3月末日までの農林業系汚染廃棄物の処理量及び8,000ベクレルを超える稲わらの量を御報告申し上げます。

詳細につきましては、後ほど町民生活課長から御説明申し上げます。

議員皆様の御理解を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（鈴木宏通君） ありがとうございます。

なお、傍聴の申出がありましたので、これを許可しております。

それでは、総務課長、説明をお願いいたします。

○総務課長（佐藤俊幸君） 本日は全員協議会を御開催いただきましてありがとうございます。

それでは、早速でございます。1番の指定管理業務に関する不適正事務についてでございますが、こちらまちづくり推進課長の齋藤 寿のほうから経過、経緯等について、皆様に御説明をさせていただきます。

なお、御手元にお配りしてございます資料につきましては、本日行いました懲戒処分の概要ということでございます。

こちら、発生年月日、こちらは後ほど経過のほうでもお話がありますが、令和3年12月から去る3月までということでございます。年齢が51歳、男性。処分内容については、本日戒告と

したところでございます。処分年月日につきましては御覧のとおり、本日の令和4年6月15日でございます。

それでは経過、経緯等について、まちづくり推進課長のほうから御説明いたします。

○議長（鈴木宏通君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（齋藤 寿君） それでは、指定管理業務に関する不適正事務につきまして説明させていただきます。

資料の懲戒処分概要にありますとおり、発生は令和3年12月から令和4年3月までの期間でございます。当時のまちづくり推進課の51歳の男性職員が、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館や事業の中止に伴う令和2年度美里町スイミングセンター指定管理料の返還手続におきまして、令和3年6月から協議を始めたところではございますが、同年7月には概ね返還の手続を完了させるべき計画で進めたところ、同年の11月下旬に指定管理者から返還請求書の提出を求められるまで業務を放置し、その後も課長から返還手続を早急に進めるよう指示命令を受けたにもかかわらず、指定管理者の求める期日までに請求書を、手続を完了することができず、結果相手方に多大なる迷惑をかけたというところでございます。

また、同じく令和2年度美里町スポーツ施設指定管理料の返還手続でございますが、こちらにつきましても放置していることが発覚し、課長から早急にするよう指示をいたしました。またも自ら事務を放置し続け、代わりに課長が事務を行わざるを得なくなった事態となったものでございます。

当該職員は、再三にわたる上司からの命令に従わず、指定管理業務における事務を遅延させた不適切な事務処理により処分を受けたものでございます。

以上でございます。

○議長（鈴木宏通君） ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、質疑等ございましたら、伊藤議員。

○6番（伊藤牧世君） まず初めに、結局いつ返還手続が完了したのか伺います。

○議長（鈴木宏通君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（齋藤 寿君） ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

返還手続といたしまして、中身を確認し、その後、変更契約をして、請求書をお出しして、最終的に納付、納入いただいたという期日でございますと、スイミングセンターのほうにつきましては、事務処理も含めて会計課の入金の部分の処理、3月24日、それからスポーツ施設については3月31日と、年度内ぎりぎりの期間でございますが、年度内に納入いただいております。

ます。

○議長（鈴木宏通君） よろしいですか。

ほかに。平吹議員。

○2番（平吹俊雄君） 金額は幾らになっておりますか。

○議長（鈴木宏通君） もう一回。

○2番（平吹俊雄君） 金額はどのくらいになりますか。

○議長（鈴木宏通君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（齋藤 寿君） 金額につきましては、まずはスポーツ施設のほうで64万8,514円。スイミングセンターにつきましては270万7,297円となっております。

○議長（鈴木宏通君） 平吹議員。

○2番（平吹俊雄君） 今も、先ほども出ましたけれども、要するに業務をこの場合は怠ったということなんです、相手側からはこの行為に対して何もなかったのかどうか、その辺お伺いしたいと思います。

○議長（鈴木宏通君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（齋藤 寿君） まずもって、スイミングセンターにつきましては返還の協議、両施設とも、両団体とも6月から調整を、決算、3月までの令和2年度の指定管理業務の決算が終わって、それが概ね確定した6月から中身については確認をさせていただいたところでございますが、スイミングセンターからは、この指定管理料の返還金の請求がいつになるのかというような問合せが11月に来たというところで、最終的にこの部分の処理の遅れている部分について、早急に迷惑をかけないように処理をいたそうとしたところでございますが、結果それよりまた遅れたということで、請求をさせていただいたところでございます。

スポーツ施設につきましては、同様に、年明け前後に、この返還金の処理についての問合せをいただいたところでございます。

○議長（鈴木宏通君） 平吹議員。

○2番（平吹俊雄君） 年度内にその業務については完了したということでございます。

そういう中で、本人は戒告処分ということでございますが、懲戒処分の中では軽いほうなのかと思っておりますが、その辺町長はどのように思っておりますか。その辺お聞かせ願いたいと思います。

○議長（鈴木宏通君） 副町長。座ったままでいいです。

○副町長（須田政好君） 懲戒処分の中で一番最初ではなく、下のほうの戒告ということでござ

いますが、まず再三の課長からの勤務命令に対して従わなかったと。このような形で、前年度の精算につきましては、相手方がおりますので、年度内、翌年度の年度内末までかかるケースもございます。特に県とか国を相手にした場合は。しかし、今回のケースに関しては、幾ら遅くても6月までは、第1四半期のうちには終わらせる事務でございます。それで、しっかりと従事して事務を進めれば6月ぐらいには終了する事務でございましたが、それをずっと放置していて、課長のほうからの指示にも従ってこなかったということ、それが一つでございます。

それから、12月までに、スイミングセンターの指定管理者のほうで、会社の会計年度の関係で、12月までには遅くとも終わらせてほしいと。それに対して、こちら相手方に合わせながら12月までにやるべきところ、さらに遅れてしまったという状況で、相手方にも多大な迷惑をかけたというところでの処分でございます。

それで、昨日その懲戒処分についての協議を行ったんですが、今回に関して、不適正な事務の発生に対しては、町の現在の規定では、戒告または減給という形になってございます。

それで、実際町そのものに損失を与えたということはありません。しかし、先ほどお話しした相手方の業者のほうに、12月までと頼まれているのが遅れてしまったということで、ご迷惑をかけたということもございまして、同じ案件が、2件にわたって、行うべき事務が遅れたということをお考えますと、減給までは、まだ少し下の、至らないのではないかとということで、戒告処分という形で、町長のほうにその結果をお話ししまして、町長のほうで本日処分していただいたというふうな流れでございます。

○議長（鈴木宏通君） 平吹議員。

○2番（平吹俊雄君） 当事者からは、この処分については納得していただいているのですね。

○議長（鈴木宏通君） 副町長。

○副町長（須田政好君） 処分ですので、本人が納得する、しないにかかわらず、任命権者が行ったものでございます。

○議長（鈴木宏通君） 平吹議員。

○2番（平吹俊雄君） やはり、今回のこういう遅れに対しまして、やはり職務怠慢というような、私はこう思うんですが、やはりこういうことは厳しくやっていただきたいと思います。

処分としては、私もこの範囲内ということになれば妥当なのかと思っておりますけれども、ただもしこれが年度を越えた場合、やはりそれなりの影響が出てくると思っております。たまたま年度内ということで、しょうがないのかと、こう思っております。

ただ、今後このようなことのないようにして、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（鈴木宏通君） 藤田議員。

○7番（藤田洋一君） 3月24日にスイミングセンターのほうは終わった、再三の課長の指示にも従わないで、そして誰がこれ3月24日に終わらせたのか、本人なのか、それとも。

もう一つは、下は、課長が最後にやったとなってくると、上のほうは本人ですか、課長ですか、ちょっとこれ書いてなかったから。

○議長（鈴木宏通君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（齋藤 寿君） では、今の御質問にお答えさせていただきます。

まず、スイミングセンターにつきましては、本人が、11月から、指定管理者のほうから問合せがあって、取りかかり始めてはいたのですけれども、なかなかその確認作業及びその後の事務が進まずにいたというところで、3月14日の事務処理につきましては、本人が調定をやり、あとは請求書を最終的につくり、上で確認をした上で納入いただいております。

あと、スポーツ施設につきましても同様でございますが、スポーツ施設の中身の確認は、本人がなかなかその後進まなかったこともあり、副町長に報告・相談したところ、課長のほうが、早急に、年度末に近づいているということで、確認やって、その後の事務処理、伝票の関係の書類は本人が行ってございます。

○議長（鈴木宏通君） よろしいですか。（「はい」の声あり）

そのほか。1番赤坂議員。

○1番（赤坂芳則君） 赤坂です。

実際は、だからお金の問題については、例えば着服などは、そういうことではないと思うので。だから、これは事務手続が遅れたということみたいだけれども、一つはそこの、例えば推進課内で手が回らなかったんだかなんだかその辺は分からないだけれども、その辺の職員の管理がどういうふうになっているのかっていうことは、ちょっと、大分今事務量も増えてきているので、手が回らなかったんだかなんだか、その辺で、内部の体制が、どういうふうに行われているんだかっていうことをちょっと確認したい。

それから、あと令和3年度と言われるとまだ分からないんだ。その辺もちょっと確認したいです。

○議長（鈴木宏通君） 副町長。

○副町長（須田政好君） 1点目の勤務の状況なんですけど、これも帰宅時間といいますか、それぞれ勤務時間等を確認しましたところ、一般的な勤務時間の量でございますし、それぞれ担当している業務につきましても、職員に適した業務量でございますし、特に業務が忙しくて手が

回らなかったという状況ではなかったと判断してございます。

○議長（鈴木宏通君） もう一点、令和3年度。

○副町長（須田政好君） 令和3年度も同じような状況で、返還金が発生してございます。これは今進めておりまして、ここ6月、遅くとも7月ぐらいには終了する予定でございます。

○議長（鈴木宏通君） 赤坂議員。

○1番（赤坂芳則君） 戒告なんだけれども、本人は通常勤務ですか、今。それとも休職とか、休暇を出しているとか、そういうのはないのね。

○議長（鈴木宏通君） 副町長。

○副町長（須田政好君） 休職はとっておりません。病気休暇もとっておりません。

○議長（鈴木宏通君） ほかに。山岸議員。

○4番（山岸三男君） 今副町長から説明ありましたとおり、仕事量的には通常量で、普通の仕事の量だったということだったのですけれども、私この内容読んで聞くところによると、課長も指示を出されて、それにもかかわらず、それを2回も繰り返しています。そうすると、仕事の量も増えて、私も仕事が忙しくて回りかねたのかっていう、一応これ内容を読んだときにそう思ったんですけれども、説明受けるとそういう状態でもない、通常勤務の中での仕事の内容だったということは、私は本人だけじゃなくて、課長が再三、再四指示を出すべきだったんじゃないかと今一瞬思ったんですけれども、その辺はどうなんでしょうか。

○議長（鈴木宏通君） 副町長。

○副町長（須田政好君） 本人と課長から聞き取りを行いましたところ、課長のほうは再三指示を出していたというところでございます。

○議長（鈴木宏通君） 山岸議員。

○4番（山岸三男君） そうしますと、私は、本人かなり、少々、かなりではない、あまり、かなりと言ったら失礼かもしれないけれども、ちょっと問題がありますね、受け止めた感じでは。話聞く感じでは。だって、課長から指示、再三受けたにもかかわらず、先ほど平吹議員言ったように、完全な職務怠慢ですよ、これは。職務放棄ですか、そこまでは俺言いたくないんだけれども。これを防ぐことも必要なので、その辺で、これ金額聞いても270何万円と64万8,000円という金額ですよ。業者とかそういうの関係では、こういう金額っていうのは物すごく大きいと思うんです。過去にもありましたけれども。これは町長、これ対策としてどういうふうに考えます。

○議長（鈴木宏通君） 副町長。

○副町長（須田政好君） 御指摘いただいたとおり、組織としての問題もあったかと思えます。しかし、職員本人にもいろいろと問題があったというふうに思っています。

それで、今人事評価を、地方公務員法で規定されてから、たしか平成29年度からですが、開始しております。こういった人事評価を反映させながら、今後さらには人事評価はその職員を成敗といいますか、それだけではございませんので、逆に育成のほうにつなげていかななくてはいけないという考えです。でございますので、現在の管理職と当の本人ともう一度面談をして、これからどのような形で改善を図っていくか個別に対応しながら、そして来年度、再来年度のほうに向けてしっかりと勤務状況、勤務態度を直させていくということで対応していきたいと考えてございます。

○議長（鈴木宏通君） 山岸議員。

○4番（山岸三男君） とにかく我が町、何回かこういう事例がありますので、どうぞ綱紀粛正、そして職員の管理、しっかりとお願いしたいと思います。上に立つ方はなおさら大変だと思うんですけども、業者が一番大変なので、こういうふうになられて、事務処理も滞ったりしますので、ぜひその辺をお願いしたいと、そのように思います。

以上です。

○議長（鈴木宏通君） そのほかありますか。町長。

○町長（相澤清一君） 今山岸議員がお話したとおり、本当に何度も何度も同じことを繰り返すのかと、町長は何やってんだって、そのような、多分そういうふうな気持ちを言いたいんだろうと思っております。

当然、町も私も、本人に対してもしっかりとそのようなことは、今日は特に強く言ったつもりでございます。あとは副町長が、これからの、そういうようなことが、ミスがないように、もう一度職員に綱紀粛正を図って、しっかりと業務遂行をしると、再三にわたってお話ししていますけれども、なお一層強く働きかけたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思えます。

○議長（鈴木宏通君） ほかに。鈴木恵悦議員。

○9番（鈴木恵悦君） 皆さんの質問と重なるかもしれませんが、やはりこの事件概要等見ますと、職務怠慢あるいは職務放棄と言わざるを得ない内容です。それが常の仕事に対する姿勢、欠席、遅刻等も含めて、どういう職員なのでしょう。その仕事に対する姿勢です。

○議長（鈴木宏通君） 副町長。

○副町長（須田政好君） 勤務状況については、例えば無断で離席をしたり、あるいは無断で欠

席したりとか、そういったことはございません。年次有給休暇の時間数を超えてまで休むとか、そういった状況はございません。勤務状況については真面目、正しく勤務しています。休まず遅れず勤務しております。

○議長（鈴木宏通君） 鈴木恵悦議員。

○9番（鈴木恵悦君） 年齢が51歳ということだと、普通ですともう幹部クラスですよね。メンタル、病気、そういうところもちよっと何か考えられるような気もするんですけども、そういうことはないでしょうか。

○議長（鈴木宏通君） 副町長。

○副町長（須田政好君） 特に病気休暇を取得しているわけでもございませんので、本人のほうに対しても、そのようなメンタル面についてを尋ねても、特にないということで確認してございます。

○議長（鈴木宏通君） 鈴木恵悦議員。

○9番（鈴木恵悦君） 昨日ですか、懲戒打合せ会議をやられたということですけども、これ本人呼出しして、本人の言い分といいますか、事情なりはお聞きしたのでしょうか。

○議長（鈴木宏通君） 総務課長。

○総務課長（佐藤俊幸君） 昨日の審査委員会について、本人の出席はございません。

ただ、この懲戒審査委員会に至るまで、担当課長それから本人からの聞き取り、あるいは文書でんまつ書の提出、事故報告等聴取しまして、本人にも面接2回か3回やって、事情聞き取りをしてございます。

○議長（鈴木宏通君） 鈴木恵悦議員。

○9番（鈴木恵悦君） こういった場合、戒告処分書っていうんですか、発行するんですよね。これはもう手渡しされたのですか。

○議長（鈴木宏通君） 総務課長。

○総務課長（佐藤俊幸君） 本日午前9時頃ですが、町長のほうから、本人を呼出ししまして、交付いたしております。

○議長（鈴木宏通君） 鈴木恵悦議員。

○9番（鈴木恵悦君） 分かりました。

先ほども議員のほうからもお話ありましたけれども、繰り返すのはやはり誠にまずいことですので、やはり町長のほうから、全職員に対しまして、訓示等きちんとやっていただければと私は思います。

以上です。

○議長（鈴木宏通君） ほかにございますか。柳田議員。

○5番（柳田政喜君） すみません、繰り返になります。

とにかく、これは、課長から言われてしなかった。今回これ全部ワンセットで1回と言っていますけれども、課長に指示されてしなかった時点でワンカウント、その後されてもしなくてもワンカウント。トータル何回言ったか分からないですけれども、それだけ繰り返したところですから、完全な職務怠慢ですよ。どういう理由があったか分かりませんが、そこはきちんと、とにかく一回、全部ワンセットにして戒告1回っていうことですが、実質は違いますから。その辺きちんと、言うたびに職務怠慢をしたっていうくらいのカウントの気持ちで処分していただきたいと思います。

○議長（鈴木宏通君） 副町長。

○副町長（須田政好君） 了解しました。

○議長（鈴木宏通君） ほかに。（「なし」の声あり）

ないようですので、では次に移らせていただきます。

説明の員の交代をお願いします。（「それでは、町民生活課と入れ替えさせていただきます」の声あり）お願いいたします。

それでは、2）農林業系汚染廃棄物の焼却についてに入ります。

それでは、総務課長また説明のほう、出席者の紹介より、説明のほうお願いいたします。

○総務課長（佐藤俊幸君） それでは、続きまして2つ目でございます。農林業系汚染廃棄物の焼却処理についてでございます。

本案件につきましては、町民生活課のほうから御説明を申し上げますが、職員の紹介をさせていただきます。

町民生活課長の阿部伸二でございます。（「よろしくお願いいたします」の声あり）

町民生活課課長補佐の佐々木 康でございます。（「よろしくお願いいたします」の声あり）

それでは、町民生活課のほうから御説明を申し上げます。

○議長（鈴木宏通君） 町民生活課長。

○町民生活課長（阿部伸二君） それでは資料、御手元の資料のほう2枚、A4の縦書きのもの1枚と、あと横書きのもの1枚、これを用いまして御説明のほうさせていただきます。

まずもちまして、令和2年12月から、農林業系の汚染廃棄物焼却処理というところで実施してまいりまして、1の令和4年3月末日までに処理した量というところで、これは令和2年度

分の処理分も含んでございますが、運搬した量が134.38トン、濃度測定をした量が118.43トン、焼却処理を実施した量が64.31トンという数量となっております。

1番の濃度測定した量の118.43トンの内訳でございますが、下に書いてございます放射能濃度別の数量というところで、焼却処理のできる濃度帯、400ベクレルから8,000ベクレル、この量が107.96トンで、8,000ベクレル超えの部分が10.47トン、合計で118.43トンというような状況となっております。

続きまして、A4の横書きの表でございますが、こちら今年度、令和4年度の農林業系汚染廃棄物の計画になってございまして、左のほうから大崎市、涌谷町、美里町全体というような表になってございまして、美里町といたしましては令和4年度28.6トン、これを焼却処理する計画となっております。

以上、説明を終了させていただきます。

○議長（鈴木宏通君） ありがとうございます。

ただいまの説明に対しての質疑を受けたいと思います。柳田議員。

○5番（柳田政喜君） まず、1番の運搬した量と濃度測定した量の関係なんですけれども、こちらのほうは、濃度測定した後に運んでいるっていう話だったと思うんですけれども、だとしたら数字が逆転していると思うんですけれども、これは先に運んでしまった部分があるということでしょうか。

○議長（鈴木宏通君） 町民生活課長。

○町民生活課長（阿部伸二君） 今の柳田議員のお話に御回答させていただきますが、まず令和2年度、3年度、4年度と、ちょっと処理の部分で一旦整理させていただきたいんですけれども、令和2年度につきましては、涌谷の前処理施設のほうに一旦運んで濃度測定をしていた経緯がありますので、数字がちょっと逆転しているところがございます。

基本的には、現在濃度測定したもので、8,000ベクレル以下のものにつきまして運搬してございますので、この量が、若干ずれが生じていると、全く一致はしないというような状況でございます。

以上です。

○議長（鈴木宏通君） 柳田議員。

○5番（柳田政喜君） でも、数字の計算していくと、どうしても合わないんです。運搬した量と測定した量、それで8,000ベクレルを超えたものを足してイコールだったらまだ分かるんですけれども、要は運搬したけれども測っていないものがあるっていう計算になってしまうので

す、これだと。あくまで運んだものを測って焼却するか、超えたものとして別積みするかっていう話だったと思うんです。最低でも、測定濃度をした量と、残ったものの量の合計よりも運搬した量は少なくなければならないんです。その辺の整合性どうなっていますか。

○議長（鈴木宏通君） 町民生活課長。

○町民生活課長（阿部伸二君） 今御指摘がございました数量のずれというところがございますが、令和3年度中だったと思いますけれども、一旦運んで、8,000ベクレルを超えたがために戻したのも、こちらの運搬した量に二重でカウントしているという運搬量というのがございますので。（「二重でカウント」の声あり）一旦農家の敷地から涌谷の前処理施設のほうに運んで、そこからまた農家の敷地のほうに戻しているのが一部あるという……（「それは今言った説明の、8,000ベクレルを超えたものと測定したものを合わせたものが、運搬量を超えることはないでしょう。8,000ベクレルを超えているものは戻したのも含めているということですか」の声あり）

○議長（鈴木宏通君） 阿部課長。

○町民生活課長（阿部伸二君） 8,000ベクレルを超えたものにつきましては10.47トンありますと。全体で測った量が118.43トンありますと。で、本来であれば運搬した量とこの濃度測定した量がイコールであれば整理なのかというところがございますが、運搬した量につきましては、一旦農家の敷地のほうから涌谷の前処理のほうに運びまして、結果的に8,000を超えていた部分を農家のほうに戻している部分もカウントをしてございますので、その運搬車両をダブルでカウントしているんです。運搬した量は実績に基づいてのこちら数字になってございますので、国に上げている実績量です。

○議長（鈴木宏通君） 柳田議員。

○5番（柳田政喜君） だから、俺はさっきからその部分も戻した量の重さも含めたとして、8,000ベクレルを超えたものを一旦運んで、それを全部運んで全部戻したとしても、この濃度測定した量と8,000ベクレルを超えた量を合わせたやつよりも運搬処理のほうが多くなる。全量測定しないということになってしまう。

濃度測定した量というのが、とにかく全部測定しましたと。その中で8,000ベクレルを超えたものが10トン幾らありましたと。それをもう一度戻しましたという場合、濃度測定した量プラス8,000ベクレルのものを足したのが運搬した量にならなければいけないんです。それで運搬した量は2倍になっているんだから。来た部分、戻す部分。それでもまださらに運搬した量のほうが多いのはおかしいでしょうって再三言っているの、最初から。

○議長（鈴木宏通君） 阿部課長。

○町民生活課長（阿部伸二君） 柳田議員おっしゃるところというのは、118.43トン足す10.47トン、この合計の数字が134トンを超えていないとおかしいですよ。（「超えてないというか、同じにならないとおかしい」の声あり）同じにならないとおかしいということでございますよね。（「それよりも低くなる」の声あり）ちょっと運搬した量のカウントの部分の、カウントの仕方の部分でちょっと量的な部分あるんですけども、ダブルカウントしている部分ございます。再三申し上げて……（「なんだダブルカウントって」「ダブルカウントしたって少ないでしょう」「落としたやつも入れたということ」「ダブルじゃ済まないでしょうということなんです」「一回戻してやったやつまた戻したということ」「8,000超えているのが10トンしかないんだよ、それを2回運んでも20トンしかないんだよ」「これ、全量測定したのかな」「まだ分からない」「測定してねえんじゃねえの」の声あり）

○議長（鈴木宏通君） いいですか。もう一回きちんとした答弁をお願いいたします。

○町民生活課長（阿部伸二君） すみません。

まず運搬した量のこの134.68トンの定義でございますけれども、基本的に今濃度を測定して運搬しているというところで、濃度測定終わった量118.43トンは全て運搬できる量というところで、118.43トンは運んでいるものになるんですけども、運搬した量の中に……（「在庫している部分があるって言ったって、8,000ベクレルを超えたものでも、行ってポイしたもの以外でも、現地で測って駄目だからって持ってこなかったものもあるわけで、そしたらなおさら運搬した量のほうが減らなきゃいけないんじゃない」「2回も3回も行ったり来たりしたの」の声あり）

○議長（鈴木宏通君） ただいまの数字の根拠となる部分がきちんと把握をされ、説明ができる状態になったときに、再度説明を受ける形でよろしいですか。（「異議なし」の声あり）

総務課長、そのとおりでいいですか、あと。もう一回、今の説明ではなかなか理解を伴うところまでいきませんので、再度この数字の根拠及びそのやりとりが合うような数字のやりとり、または説明がきちんとできるような体制を組んでいただきながら進めていただく形をとっていただくという形でよろしいですか。

○議長（鈴木宏通君） 副町長。

○副町長（須田政好君） 説明ができなくて、大変申し訳ございません。

今議長からお話ありましたように、きちんと資料を整理しまして、しっかりと説明できるように整え、もう一度御説明する機会をよろしくお願ひしたいと思います。大変申し訳ありませ

んでした。

○議長（鈴木宏通君） 本日、皆さんそのとおりでよろしいですか。（「はい」の声あり）

以上で、町長からの説明及び意見を求める事項については終わります。

執行部の皆様、大変御苦労さまでございました。（「その他あるんだね」の声あり）その他ありますので、議員の皆さんはお待ちください。

執行部の皆さん、ありがとうございます。ぜひ、次の機会をしていただきますので、よろしく対応をお願いします。

続きまして、その他に入ります。

事務局からの事務連絡が数点ありますので、よろしく願いいたします。

○事務局長（今野正祐君） それでは皆様、もう少しお付き合いください。

私のほうから、事務連絡4点ほどございます。順を追って説明させていただきます。

資料につきましては、今農林業系汚染廃棄物の処理に関する資料の下に入っております。

一番最初にございましたのが、右上に令和4年6月1日付、県北地方町議会議長会主催の議員研修会についての御案内でございます。

こちら、今日の本会議の中でも議決いただきましたけれども、7月1日金曜日午後1時30分から、女川町の生涯学習センターで実施されます。こちらの申込期限が6月20日となっております。万が一この日都合が悪いというような方がいらっしゃいましたら、今週中に事務局のほうに連絡をいただきたいというふうに思います。何もない場合につきましては、6月20日に事務局のほうで、女川町のほうに報告いたします。

それで、当日のスケジュールでございますが、実は、この全員協議会終わりましたら運営小委員会があって、そちらのほうで正式決定になりますが、7月1日の午前中に議会活性化調査特別委員会を開催する予定となっております。正式には今後の小委員会で決定されますが、それで、午前中、活性化調査特別委員会を実施いたしまして、それが終わりましたら、早めの昼食を、議積のほうからお弁当を買って、配達してもらって、皆さんでここで食べて、それでマイクロバスで12時頃、一緒に女川町のほうに出発したいというふうに考えています。

もう一度繰り返しますと、7月1日午前中は議会活性化調査特別委員会を行うと。それが終わりましたら、早めの昼食を、お弁当をとって皆で食べると。そして、食べ終わりましたら、12時頃をめどに皆さんで女川町に向かうというスケジュールにしたいというふうに思います。よろしくをお願いします。万が一、都合の悪い方につきましては、今週中に事務局のほうに連絡です。

1つ目終わります。（「帰りはどうするの」の声あり）通知に書いていなかった。多分1時間半か2時間くらいの日程になるかというふうに思います。3時か3時半頃に終わりますと、こちらの帰着が4時半から5時です。それくらいを見込んでおります。（「特別委員会は何時から分からないんだね」の声あり）今日正式決定をしますが、9時半くらいかというふうに考えております。（「懇親会はしないんですか」「研修会」「交流会」の声あり）例年はちょっと研修会の後に交流会を設定していたようですが、やはりちょっとまだ早いということで、交流会はありませんので、研修会が終わりましたらすぐこちらのほうに戻ってくるという形になります。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

次、2つ目の連絡事項です。

その次にもまた資料を準備しておりますが、県議長の議員講座でございます。こちら7月14日、15日両日午後1時30分から自治会館で実施する中身になっております。

それで、一応常任委員会ごとにその日取りを分けようというふうな運びにしております。7月14日につきましては総務、産業、建設常任委員会の皆さんで行っていただくと。7月15日につきましては、教育、民生常任委員会の皆さんで行っていただくというふうな状況にしております。

ただし、申込み期限が7月1日になっておりまして、やはりその研修テーマ、あるいはその日にちの関係で交換してほしいというような方がいらっしゃいましたら、その7月1日の申込み期限前までに常任委員会の委員長及び事務局のほうに御連絡をいただきたいというふうに思います。日付の変更、あるいはテーマのその興味によっての変更、その場合につきましては、委員長及び事務局への連絡をお願いします。申込みが7月1日になっていますので、期限が、その前までにとということをお願いいたします。

それで、あともう一つ連絡としては、例年のことではございますが、今回その自治会館が会場になっていますが、研修地までは個人で行っていただくというようになりますので、その点、これは例年そのようにお願いしていますので、よろしくをお願いいたします。

それから、3つ目でございます。

これも資料を配付しております。一番下になっているかというふうに思います。3枚ものです。

宮城県知事に対する令和5年度に係る町村振興対策要望事項、これを上げてくれというふうに、県の議長会から来ております。昨年もちっと1件上げた事例がございましたが、これ皆様のほうにお願いです。

これは、美里町域全域に係る問題としてというふうな前提がございます。さらには、道路の要望については2件までというふうな限定もございますが、皆様の中で、その提案のある方につきまして、要望事項、欄がありますので、この欄全部使ってくださいというわけではないです。要望事項をまとめていただいて、あれば、締切りがそこに書いてあったというふうに思いますが、8月31日だったか、一応その1週間くらい前までに事務局のほうに御提出いただきたいというふうに思います。

ただ、皆さんから1項目ずつ出ますと13項目になります。一応1町村、項目としては2つまでというふうな限定の仕方もありますので、多く出た場合につきましては、議長と協議しながら、2項目に絞って、美里町として出したいというふうに考えております。よろしくお願ひします。

最後になります。

これは、議運のほうでちょっと上がったものでして、大崎広域のほうで今回新しく建設というか造った熱回収施設がございます。こちらを、議員皆さんで視察に行きたいという話が上がっております。

それで、一応視察の日程につきましては、当初8月上旬というふうな提案のされ方もしましたが、まだはっきりとは決まっておられません。常任委員会の調査の関係もございますが、改めてこちらのほうを日程調整しまして、後日皆様のほうに通知は出したいというふうに思いますが、一応熱回収施設の研修を今後全議員で行うというアナウンスだけさせていただきます。

事務局のほうからは以上です。（「まほろば」の声あり）

まほろば、8月22日も今日はありましたけれども、まだ正式通知が来ていないんです。今日もちょうと案の中ででしたけれども、議案としては出させていただきましたけれども、まほろばのほうにつきましては、正式通知が来た後、改めてアナウンスをさせていただきたいというふうに思います。

あと終わりですが、あと今日の件です。今日の夜の研修会の御連絡をいたします。

午後6時から友栄会館かともえ亭かどっちかだというふうに思いますけれども、午後6時からになりますので、皆様御多忙中のところ大変恐縮ですが、御参集いただきますようよろしくお願ひいたします。

以上です。（「これから運営小委員会やらなきゃいけない。控室でやりますので、終わったら集まってください」の声あり）

○議長（鈴木宏通君） 以上、その他についてを終了させていただきます。

本日の全員協議はこれで終了いたします。

では、副議長お願いいたします。

○副議長（村松秀雄君） 長時間にわたりまして全員協議会お疲れさまでした。

これで終わりますので、気をつけて帰ってください。また6時に会いましょう。ありがとうございました。

○議長（鈴木宏通君） あと、今の焼却のやつは、改めて日程調整は、執行部と相談をした上で、後でまた通知をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

午後3時50分 閉会

会議の経過を記載して、相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年6月15日

美里町議会議長